

# 令和5年度成田市学力調査の結果について【中学1年生】

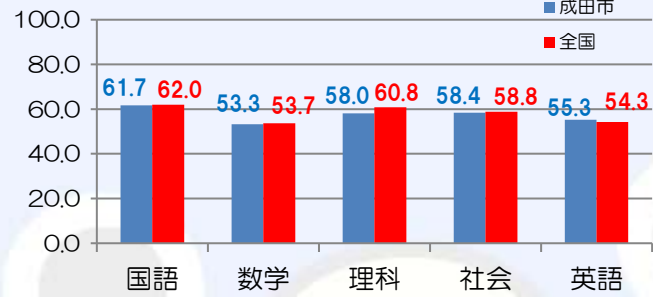
## 【成田市学力調査・実施概要】

- 1 実施日 令和5年12月6日・7日
- 2 実施教科 国語、数学、理科、社会、英語

なお、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の一部であることに留意願います。

※本調査における全国(国)とは、国内の全小中学校のうち、本市と同じ問題を実施した児童生徒の平均正答率を示します。

1 各教科の平均正答率



## 2 教科ごとの状況

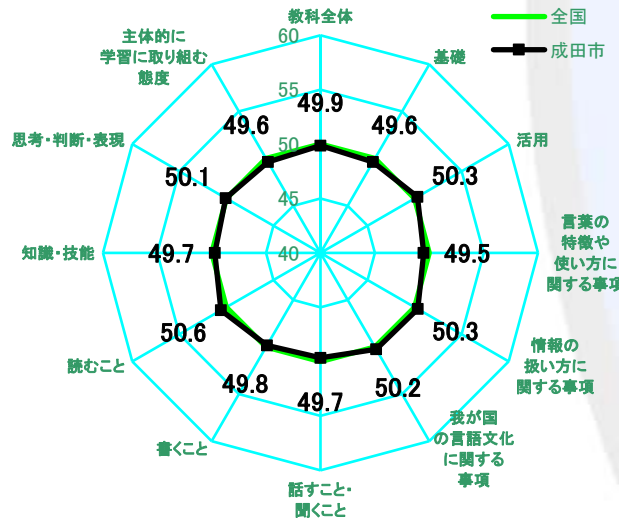
(1) 国語 (全国の正答率を50とした相対値)

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
5 (1)	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。〈文学的な文章の内容を読み取る〉	76.6	73.4
6 (2)	読み手の立場に立って、文章を整えている。〈調べたことをもとにレポートを書く〉	75.7	68.9

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
2 (2) ①	小学校で学習した漢字を正しく書いている。〈漢字を書く〉	36.9	43.1
7	指定された長さで文章を書いている。	64.3	68.1
	2段落構成で文章を書いている。	59.6	63.2
	読み取った内容を明確にして書いている。	48.2	51.8
	自分の考えを明確にして書いている。〈文章を書く〉	59.2	61.5



### 【国語・力を入れた学習】

一定量の文章を書くことに課題が見られます。200字程度で文章を書く機会は学校生活の中に多くあります。体験や事実を明確に捉え簡潔にまとめること、自分の考えをもつことを心がけて書くことで問題を解く際の力につながります。

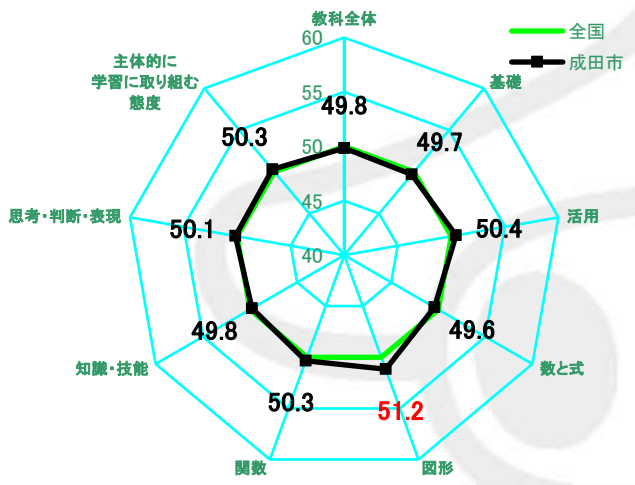
(2) 数学 (全国の正答率を50とした相対値)

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
7 (2)	分数を含む1次方程式を解くことができる。〈1次方程式〉	42.2	36.5
15	三角形を対称移動させたときの図形を作図することができる。〈平面図形〉	72.7	67.4

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
3	素因数分解について理解している。〈正の数、負の数〉	37.0	53.8
5 (1)	文字式の表し方を理解している。〈文字式〉	11.6	17.8



### 【数学・力を入れた学習】

「素因数分解」や「文字式」について復習しましょう。様々な学習の基礎となる知識なので、たくさん問題を解いて慣れ親しむとともに、考え方を理解し、積極的に活用できるようにしましょう。

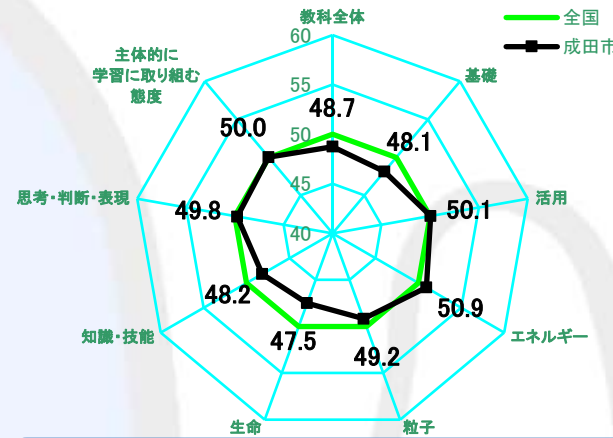
(3) 理科 (全国の正答率を50とした相対値)

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
4 (1)	メスシリンダーの使い方を身に付けている。〈身のまわりの物質とその性質〉	98.1	96.9
8 (2) ①	平面鏡と凸面鏡で見える範囲を指摘できる。〈光の性質〉	72.9	69.2

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
2 (1)	胚珠について理解している。〈植物の分類〉	33.5	43.8
6 (3)	溶解度について理解している。〈水溶液の性質〉	24.7	25.9



### 【理科・力を入れた学習】

1つ1つの理科用語を単独で理解するのではなく、関連する事象や、類似・対比できるものと紐づけながら学習することが大切です。また、実験や観察は仮説を立てて学習しましょう。

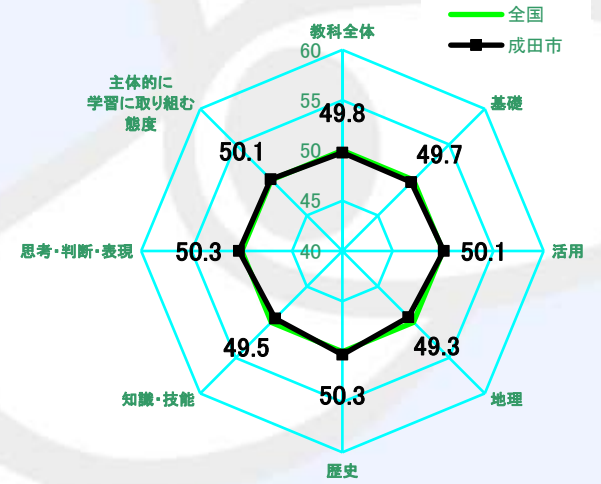
(4) 社会〔地理〕〔歴史〕 (全国の正答率を50とした相対値)

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
6 (3) ②	奈良時代の人々の負担について、複数の資料をもとに考察し、表現している。〈奈良時代～平安時代〉	69.5	65.0
7 (2)	アジア州の産業について、複数の資料をもとに判断している。〈世界の諸地域〉	46.5	42.8

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
1 (1)	海洋の分布についての理解をもとに、地図を読み取っている。〈世界の姿〉	61.6	64.0
3 (2)	世界のさまざまな住居について理解している。〈世界各地の人々の生活と環境〉	69.4	74.1



### 【社会・力を入れた学習】

地理分野については世界の大陸、海洋、地域区分など基本的な知識を身につけましょう。歴史分野については、日本と東アジアの繋がりやその影響について理解することが大切です。

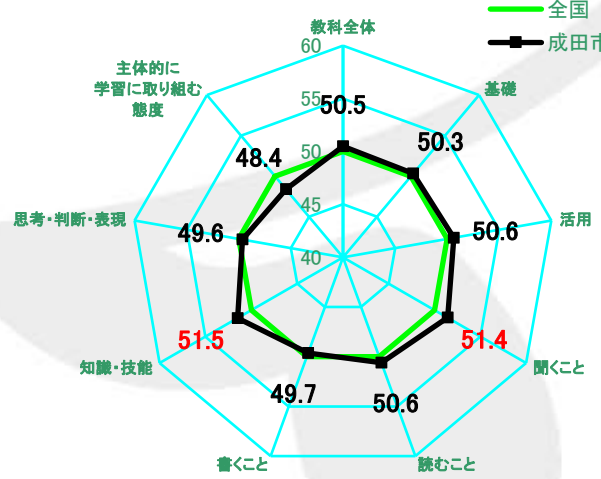
(5) 英語 (全国の正答率を50とした相対値)

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
1 (1)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。〈リスニング(内容理解)〉	90.9	83.7
8 (3)	文の語順を理解し、正確に書いている。(命令文)〈単語の並べかえによる英文〉	58.7	37.7

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
4	対話から必要な情報を聞き取り、資料をもとに英語で答えている。〈リスニング(対話の応答)〉	19.5	13.6
9 (2)	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(Whenを使って時をたずねる)〈場面に応じて書く英文〉	7.5	49.2



### 【英語・力を入れた学習】

書く力を高めるには、何度も学習してきた表現に触れたり考えたりしながら、長期的に繰り返し練習することが大切です。また、「聞く・読む・話す」ことを「書く」ことに関連付けて学習することが効果的です。書く練習をする際は、「I・You」以外が主語になる英文、平叙文、疑問文、否定文など様々な形式の英文を書くことよいでしょう。書いた後は読み直して確かめ、さらに発音してみましょう。